

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 千葉ねんりんの家

グループの名称 千葉ねんりん会

直近採択グループ番号 04-0355-0224

(グループ代表者)

代表者名 菅谷 伊佐央 代表者印
代表者所属先 株式会社菅谷工務店
代表者所在地 千葉県香取市府馬1869番地
代表者電話番号 0478-83-7111

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社菅谷工務店
事務局担当者名 菅谷 伊佐央 印
事務局郵便番号 289-0411
事務局所在地 千葉県香取市府馬1869番地
事務局電話番号 0478-83-7111
事務局FAX 0478-79-9222
事務局担当者E-mail s-5610@center-home.net

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		24	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	16	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	4	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	1棟				
			250㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	全体配分は構成員(施工)の申し込み先着順とする。ただし本事業補助金対象住宅の完工実績が3棟未満の構成員に、採択分の50パーセントを優先して配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	12戸	交付申請戸数	10戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 千葉ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県・茨城県・東京都・埼玉県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 千葉ねんりん会	(結成年) 2013年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0355-0224	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域材を活用しやすい木造軸組み工法を採用する。 地球環境に配慮し、震災時や将来に備えて6L以下の節水型便器を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域の景観を損なわぬよう、デザイン・彩色に配慮し地域との調和を図る。	◎
④①～③の背景	地域により海沿いの沿岸部は風が多く吹き込む為、冬季は寒さが厳しい時期もあるが、総じて安定した気温を保ち過ごしやすい地域である。千葉県南部は緑なす上総の山々、北部は大地とこれを囲む低地からなり、内陸部程人口密度が高く狭小住宅や高層ビルが密集している。また首都圏のベッドタウンとして、時代に敏感な若年層の住宅一次取得者も多く省エネルギーに対する関心も高い。高性能な住宅を望む者も多く、地場工務店の高い技術と豊富な知識を活かし時代のニーズに適応した住宅の建設が必要となる為。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	高齢化社会を考慮しバリアフリーを取り入れる。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 90角、105角、120角、105巾、120巾、を主に使用する	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 品質・地域貢献の観点を重視し、茨城県・栃木県・福島県を中心とした国内の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料の統一をはかる。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 給排水設備について、貫通スリーブと給排水ヘッダー方式を原則とする「アクアシステム」を標準仕様とする。 ※地域により自治体の基準に合致しない場合はこの限りでない。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 給排水設備工事について「アクアシステム」を共同購入することでコスト低減を図る。 雨水利用システムの共同購入によりコスト削減を図る。 主要構造材の購入販路を数社に絞り資材調達の共同化と、申請事務の合理化を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 優良な設備商品などは性能の良い低価格の新商品が次々と出てくるため、メーカーリストを作成して施工会社に随時情報を流し構成員で共有する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 技術部会を発足し性能・技術の向上及びコスト調査、研究等を実施する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 資材調達の合理化の為に、中立的な立場で業者間のコスト協議を進めて生産力向上に貢献する。本事業補助金対象建築物の未経験工務店に対する施工指導と申請支援を行う。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内技術部会による各種勉強会を開催する。 また知識・技術向上を目指し施工部門及び管理部門の各詳細部門の基準を確立する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理部会を中心に点検マニュアルの作成と研修会を実施する。完成物件を対象に年間数棟、事務局にて抽出検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局を中心とし標準書式を作成する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 広報部会、技術部会、維持管理部会を年4回程度計画し、会員の情報共有化と技術支援を実施する。住宅省エネルギー技術講習会修了者が住宅の設計、施工、または工事管理のいずれかに関わる事を義務化する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ申請数向上の為に認知活動として、雑誌掲載等出来る限りの媒体を活用し、PR活動を行なう事で認知度と信頼性の向上に努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 千葉ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県・茨城県・東京都・埼玉県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 千葉ねんりん会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0355-0224	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報管理システム「あんしんいえるて」の活用、履歴管理、指定図書を情報機関に蓄積する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 日本ERIとの毎月定期的な情報交換会を開催	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「あんしんいえるて」の申請登録証の提出を実績報告時に義務化	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主セミナーや見学会を開催し住宅の手入れ方法を学ぶ機会を設ける。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店個別にお施主様と実施	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会の役割として施工構成委員が自社で施工した物件に対して自主検査が出来る仕組み・取組み(点検マニュアル)を推進する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者保護の観点からグループ内の維持可能なアフターメンテナンス体制を目的に維持管理継承による点検費用の原資として1棟当たり5万円の維持管理基金を積み立て、事務局が管理する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の瑕疵データ勉強会を開催し、今後発生しやすい瑕疵工事等情報の一元化を図る。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 千葉ねんりん会独自の標準的な住宅の仕様・マニュアルの作成を目標とする。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 本事業対象建築物の施工未経験構成員への勉強会・研修会の実施を、グループ内構成員のサポートで計画し実施する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 給排水ヘッダーシステム・雨水貯水タンク・節水型便器・断熱浴槽の設置(市町村条例、施主意向順守)	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告時に写真の提出又は取り付け状況報告を義務化	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年を見据え全棟一次エネルギー消費量15%削減を目指し、PR媒体・SNSなどを使用し地域型住宅の普及を推進する。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の一部が省エネ技術講習会未終了の為、メール、FAX等により地域での参加情報より早く連絡し参加予定を確定させる。これにより省エネ技術講習会を全てのグループ構成員に終了させ、省エネ技術を確立する。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 常に新しい講習会等の案内を事務局より発信して技術向上と新知識獲得を図る。新商材勉強会を定期的に実施して、グループ内での活用を随時検討する。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 千葉ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県・茨城県・東京都・埼玉県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 千葉ねんりん会	(結成年) 2013年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0355-0224													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通ルール(必須)</p> <p>地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="0"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>【地域材供給の流れ】</p> <pre> [原木供給事業者] → [製材集成材合板事業者] → [プレカット事業者] [施工事業者] ← [木材]扱わない流通 ← [設計事業者] [海外原木供給事業者] → [製材集成材合板事業者] → [プレカット事業者] </pre> <p>【グループの取組に関して】</p> <p>主要構造材(土台・柱・梁・桁)全体の50%以上の地域材を使用する。 地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局と原木供給、製材・集成材・合板製造、建材流通、プレカットの各事業者と供給、及び受給体制に関して定期的打合せ開催。</p>	◎												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 200枚</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 60坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 40枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 塗り壁材料メーカーによる和風建築外壁の勉強会を開催</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○												
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主に住まい方の提案を実施。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	◎												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	震災の経験を踏まえ、震災後の電力不足・水不足などのインフラ被災に対応するために、耐震・省エネ・節水等を課題として住宅づくりを推進する。	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	千葉ねんりん会として少しでも貢献できるよう勉強会など会員が集まるときに募金活動を開始し、集まった募金は日赤茨城を経由して寄付する。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 千葉ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県・茨城県・東京都・埼玉県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 千葉ねんりん会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0355-0224	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

千葉ねんりん会が取り組む「ゼロエネルギー住宅」は環境社会が今後深刻な問題となりうることから、低炭素社会を見つめ必要不可欠である「ゼロエネルギー住宅」を会員工務店である地域工務店が積極的に取り組みやすい工法、モデル、材料を標準化し、地域ユーザーに信頼される価格で提案できる仕様を当初の目的とする。

初めて取り組みを行う工務店にも少しの仕様変更で取り組めるように、出来るだけハードルを下げ、施工しやすい様に基準をもうけた。

千葉ねんりん会は、国策の通り2020年には、50%以上の住宅に対し「ゼロエネルギー住宅」化を目標とし、その基盤づくりとして活動する。

【グループとして建築する住宅の要件】

- 1、地域区分4地域から6地域
- 2、節水対策は節水トイレ、浴室は高断熱浴槽とする。
- 3、評価方法は「平成28年基準」に準じる
- 4、外皮熱貫流率0.6以下
- 5、エネルギー削減率105%以上
- 6、太陽光発電を除く削減率20%以上
- 7、冷暖房機器は高効率型を標準とする。
- 8、給湯器はエコキュート又はエコジョーズを標準とする。(同等以上も可)